

公益財団法人 日韓文化交流基金

日韓大学生オンライン交流 日本側参加者募集要項

公益財団法人日韓文化交流基金は、外務省が推進する JENESYS（対日理解促進交流プログラム）の一環として、毎年、大韓民国教育部国立国際教育院と共に日韓両国の大学生を対象とした相互派遣を行っています。2022年度は来年3月の訪韓団実施を前提に、そのプレプログラムとして本年5月から6月にかけて「日韓大学生オンライン交流」を実施する予定であり、この度、本プログラムへの参加者を広く募集します（本プログラムは全日、オンラインツール「Zoom」を使用して実施します）。

本プログラムの参加者には、日本の大学生代表として、まずは韓国の大学生代表とのオンライン上での交流を通じて、日韓間における相互理解の促進につながる情報や日本の魅力等を積極的に発信していただきます。

その後、新型コロナウイルス感染症の感染状況等の諸般の状況が許せば、韓国の大学生代表は本年12月までに、日本の大学生代表は来年3月までに、実際に相互訪問していただく予定です（ただし、訪韓時点で日本の短期大学、4年制大学及び6年制大学のいずれかの学部在籍している方に限ります）。

事業概要

1. 実施機関

公益財団法人日韓文化交流基金、大韓民国教育部国立国際教育院

2. 日程

<日本側参加者向け事前説明会>

2022年5月21日（土）

<プログラム実施日>

2022年5月28日（土）、6月4日（土）、25日（土）計3日間

3. 実施内容（予定）

第1回目（5月28日（土）14:00～17:30）

- ・オリエンテーション
- ・日本側講義
- ・グループ別交流

第2回目（6月4日（土）11:00～13:00、14:00～17:00）

- ・オンラインピクニック
- ・韓国側講義

- ・グループ別交流

第3回目（6月25日（土）11:00～13:00、14:00～17:00）

- ・グループ別交流
- ・成果報告会（グループ別発表）

4. 募集人数

50名

5. 応募資格

- (1) 日本国籍を有する方、もしくは外国籍で日本の永住権を有する方（外国籍で日本の永住権を有する方は、応募時の書類に日本の永住権を証明し得る公的証明書のコピー添付が必要となります）。
- (2) 日本の短期大学、4年制大学及び6年制大学のいずれかの学部在籍していること（大学院生は対象外となります）。
- (3) 過去に日本政府の派遣プログラムに参加経験がないこと。

【該当プログラム例】

JENESYS（日韓高校生交流キャンプ等の当基金企画競争公募事業含む）、
カケハシ・プロジェクト、MIRAI Program、日露青少年交流事業、
Juntos!!、青年の船、訪中団、訪露団 等

- (4) 交流に必要な英語、もしくは韓国語の語学能力を有すること。

次の資格、または同等の資格を証明できること。

英検2級以上、TOEIC（IP可）500点以上、TOEFL iBT 32点以上、
TOEFL ITP/PBT 470点以上、ハングル検定3級以上、TOPIK3級以上 等

※上記以外で同等の資格を有される方はご相談ください。

- (5) 韓国に継続して20日以上滞在した経験がないこと。
- (6) 2023年3月31日時点で満30歳以下であること。
- (7) 参加決定後、当基金が課す事前準備や課題の提出が可能であること。
- (8) Facebook及びLINE、Kakao Talk等に登録し、当基金や他の参加者とのやりとり（グループ含む）が可能であること。
- (9) 日本の大学生代表として積極的に日本の魅力について伝え、SNS (Facebook、Instagram等) やインターネットを活用し、積極的に情報発信が可能であること。
- (10) 学校や公共の場において、本プログラムでの経験を報告、または動画・ポスター等を作成し、SNS (Facebook、Instagram等) やインターネット上で積極的に情報発信が可能であること。
- (11) 本プログラム実施中及び実施前後に、当基金及び外務省が行う定期的なアンケートへの協力が可能であること。

(12) 本プログラム終了後に実施される大学生訪韓団 OB・OG の活動や韓国の大学生との交流活動に積極的に参加できること。

※参加決定後、応募書類等に虚偽が発覚した場合、または応募資格に欠格が生じた場合には、参加をご辞退いただきますので予めご了承ください。

6. 個人情報の扱いに関して

(1) この事業実施に必要な個人情報については、公益財団法人日韓文化交流基金の「個人情報の保護に関する方針（プライバシー・ポリシー）」に則り管理します。

(2) 次の目的にて、入手する情報を利用し、関係先と共有することがあります。

①本プログラム実施中、韓国側関係機関と共有する。

②アンケートの集計結果を外務省と共有する。

(3) 当基金は、本プログラム実施中及び終了後に、事業の記録や広報のため、活動の様子を写真や動画で撮影し、次の範囲で用いる予定です。

①当基金のウェブサイトや広報物（印刷媒体）で、本プログラムについて広報する。

②外務省が本プログラムについて広報する。

7. 応募方法

以下の書類をご準備いただき、応募フォームからご申請ください。

(1) 応募自由記述文（エッセイ）

以下の2つのテーマについて、それぞれエッセイを作成してください。

テーマⅠ	あなたは、韓国の大学生と共同研究をすることになりました。一緒に研究したいテーマを設定し、①その理由、②研究方法、③研究結果をどう生かしたいかについて記述してください。研究期間や研究費用について制限はありませんが、設定される場合には、具体的に明記してください。 (640字以上800字以内)
テーマⅡ	あなたが今まで経験した国際交流の中で、ユニークなエピソードについて記述してください(交流相手は韓国の方に限定しません)。国際交流経験がない方は、本プログラムに参加した場合、どのようなエピソードをつくりたいかについて述べてください。(320字以上400字以内)

(2) 学生証（両面コピー）

(3) 語学能力を証明するもの（コピー）

(4) 永住権を証明し得る公的証明書（コピー）※外国籍で永住権を有する方のみ

※上記(2)(3)(4)はPDF または写真に加工し、応募フォームからアップロードしてください。

<応募締切日>

5月8日（日）

※電子メールでのご応募や、応募締切日までに全ての提出物が揃わない場合は、不受理となりますのでご注意ください。

8. 選考・決定

選考結果は、5月18日(水)までに当基金ホームページにて発表、及び通過された方にのみ個別にメールにてご連絡します。選考過程及び選考結果の合否や理由等に対するお問い合わせには、一切お答えできませんので予めご了承ください(参加者決定の発表は整理番号にて行いますので、必ずお手元にお控えください)。

<お問い合わせ先>

公益財団法人日韓文化交流基金 日韓大学生オンライン交流担当

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-21-2 プライム水道橋ビル5階

E-mail: [haken\(a\)jkc.or.jp](mailto:haken(a)jkc.or.jp)

※当基金では現在、在宅勤務実施中につき、お問い合わせの際は上記メールアドレスにご連絡ください。

※メール送信時には(a)を@に変えて入力してください。